

IV-3 商業の振興

中小企業の振興や経営基盤の強化、経済団体の機能強化を図るため、企業活力を強化する様々な取組や空き店舗対策など各種支援制度の充実により、起業や事業承継を後押しするとともに、経済団体や金融機関などと連携し、地域内の経済循環による地域経済の活性化に努めます。

【現状と課題】

大型店の進出、消費者ニーズの多様化、後継者不足などにより事業所数は減少し、中心市街地に限らず市内全体で経済活動が縮小したため、活気が失われつつありました。しかし、中小企業振興条例に基づく支援メニューの拡充・緩和を行い、中小企業の積極的な投資を後押しし、これまでにない新規創業に繋がりました。引き続き、金融機関などとの連携強化を図り、国や道の融資制度の情報提供を行うとともに、事業者ニーズや時代に即した持続可能な支援制度の研究が必要です。

【後期計画期間の方向性】

中小企業が活力を最大限に発揮できる社会環境と地域循環型経済を構築することが重要であり、今後は、新たな支援メニューの周知・利用促進を図り、時代の中で変化する経営環境に果敢に挑戦する意欲あふれる中小企業の経営基盤の強化や、地域経済の活性化に向けた取組を推進します。

【主な成果指標】

指標項目	基準値	目標値	説明
創業支援事業利用件数	1 件 (2021)	1 件 (2026)	中小企業振興条例に基づく補助金を利用して創業した各年の件数
企業活力強化支援事業利用件数	2 件 (2021)	5 件 (2026)	中小企業振興条例に基づく補助金を利用して店舗改修などを実施した各年の件数
創業相談件数	4 件 (2021)	6 件 (2026)	創業相談窓口での各年の相談件数

【想定される主な実施計画事業等】

■ 中小企業振興事業(商店街等活性化事業) ■ 創業支援・事業承継事業

【関係する個別計画】

■ 創業支援等事業計画 ■ 基本計画(地域未来投資促進法)

IV-4 工業の振興

地元企業の育成と経営基盤の強化や経営の安定を図るため、新たな市場開拓や販路拡大のための新製品の開発など各種支援制度の充実により、域外市場産業の強化を進めるとともに、地域の実情に応じた企業の立地・誘致を推進し、地域経済の活性化に努めます。

【現状と課題】

市内製造品出荷額の大半を占める企業の撤退による経済的損失からの経済再生を図るため、起業支援をはじめ市内の域外市場産業を育成するとともに、企業の立地・誘致を促進することにより、地域経済の活性化に取り組む必要があります。また、技能者の人材不足とりわけ若年技術者が不足していることから、技能者育成・確保に向けた対策について、関係機関や団体と協議・検討していくことが必要です。

【後期計画期間の方向性】

企業の立地・誘致や地域中核企業の支援は、地域経済の活性化、若年者の地元定着促進及び雇用に大きな役割を果たすことから、新たな支援策の周知・利用促進を図り、地域の特性を活かした企業の立地・誘致や技能者育成・確保の取組をより一層推進します。

【主な成果指標】

指標項目	基準値	目標値	説明
名寄で人づくり事業利用件数	4件 (2021)	4件 (2026)	中小企業振興条例に基づく補助金を利用して資格を取得した各年の件数
立地した企業数	0件 (2021)	4件 (2023～2026)	企業立地促進条例に基づく助成金を利用して立地した企業数
金融機関との意見交換会の開催回数	3回 (2021)	3回 (2026)	産官金連携なよろ経済サポートネットワークを開催した各年の回数

【想定される主な実施計画事業等】

■企業立地促進事業 ■中小企業振興事業(商店街等活性化事業) ■中小企業振興事業(人材確保育成事業) ■住宅改修等推進事業

【関係する個別計画】

■創業支援等事業計画 ■基本計画(地域未来投資促進法)

V-4 大学教育の充実

将来構想の推進など、長期的視野に立った大学運営を進めるとともに、地域社会の教育的活用と本学の人的・知的資源を生かした地域貢献に取り組む大学として、地域経済、地域社会の発展等に努めます。また、公開講座などの開催により市民に開かれた大学を目指します。

【現状と課題】

有用な人材を確保・育成するため、給付型奨学金等の給付や快適な学修環境の提供が必要です。また、地域活性化及び人口減少対策にも資する卒業生の地元定着に向け、関係機関と連携した支援の充実が必要です。さらに、産学官の連携のもと地域に貢献する大学としてオンラインの活用など工夫をしながら公開講座等の開催を継続していく必要があります。

【後期計画期間の方向性】

「ケアの未来をひらき、小さくてもきらりと光る大学を目指す」大学の理念及び目的を達成するため、ケア専門職を対象としたセミナーの開催などの地域貢献を行い、教育研究成果を社会への還元を目指します。また、施設等の教育環境の充実、本学生の本市への定着を促す取組を推進します。

【主な成果指標】

指標項目	基準値	目標値	説明
卒業生市内就業者数	12人 (2021)	20人 (2026)	年度ごとの卒業生の市内就業者数
企業情報提供機会 (ミニジョブカフェ)	0回 (2021)	2回 (2026)	年度ごとのミニジョブカフェ開催数
公開講座の開催回数	2回 (2021)	5回 (2026)	年度ごとの公開講座開催数
リカレント*講座開催回数	4回 (2021)	5回 (2026)	年度ごとのリカレント講座開催数

【想定される主な実施計画事業等】

■海外短期留学等支援事業 ■既存校舎等改修事業 ■校舎バリアフリー化推進事業 ■情報及び実習環境整備事業 ■コミュニティケア教育研究センター活動推進事業 ■名寄市立大学卒業生の地元定着促進事業 ■給付型奨学金等給付事業 ■名寄市立大学学生寮整備事業

【関係する個別計画】

■名寄市立大学の将来構想(ビジョン 2026)

V-9 地域文化の継承と発展

市民が想像力にあふれ、豊かな人生を送ることができるよう、文化施設の整備や指導者の育成など文化振興のための基盤整備を進め、拠点施設を中心に、文化に触れる機会の充実を図り、文化の創造と団体の育成に努めます。また、平成の名寄の歩みをまとめた新たな市史の編さんに努めます。

【現状と課題】

市民文化センターとふうれん地域交流センターを拠点として、多くの市民が文化芸術に親しむ機会の拡充が期待されることから、関係団体との連携・協働による発表や鑑賞機会の充実が必要です。また、本市の歴史や文化財、郷土芸能について、各種展示会などを通じての普及啓発や次世代への継承のため、調査や保存、市民の理解を深める取組の充実が必要です。市史編さんにあたり、関係者の記憶が残っている内にその歩みをまとめ、検証し、将来につなげていくことが必要です。

【後期計画期間の方向性】

文化芸術活動への参加・発表・鑑賞機会の充実を図るとともに、市民が文化芸術に親しむ環境づくりを進めます。また、文化財を保護するため、普及啓発に取り組むとともに、指定文化財や郷土芸能の継承に向けた支援を進めます。2024年度の名寄市史発刊に向け、編さん事業を進めます。

【主な成果指標】

指標項目	基準値	目標値	説明
来場者アンケートによる満足度	89% (2021)	89% (2026)	来場者アンケートによる満足度の年度平均値
市民文化祭・風連文化祭事業	73 団体 (2021)	73 団体 (2026)	市民文化祭と風連文化祭の参加団体数。個人は含めない。
北国博物館での展示会の開催	14 回 (2021)	14 回 (2026)	各種展示会の開催回数

【想定される主な実施計画事業等】

■市民と協働による文化芸術推進事業 ■文化振興事業 ■各種講演会・講座・展示会運営事業 ■文化財保護事業 ■市史編さん事業

【関係する個別計画】

■名寄市社会教育推進計画